

ワークショップ「医師のキャリアについて考える」

概要

2014年7月15日巖櫃会館にて、医学科3年生（118名）を対象に、医師を目指す学生たちが将来に向けてより良い選択とキャリア構築を行うため、早い段階から自身のキャリアについて考えることが重要であるとの観点の下、自らが望む社会貢献や目標実現に向けた課題と解決策等を仲間や先輩医師とともに掴むことを目的としたワークショップ「医師のキャリアについて考える」を開催した。

出席者

講演者

- ・奈良県立医科大学 病理診断学講座 教授 大林 千穂先生
- ファシリテーター（ワークショップ）
- ・奈良県医師会理事 勤務医部会 部会長 原 健二先生
 - ・奈良県医師会理事 勤務医部会 副部会長 堀川 巳清先生
 - ・奈良県立医科大学 女性研究者支援センター コーディネーター 水野 文子（微生物感染症学講座 講師）
 - ・奈良県立医科大学 女性研究者支援センター コーディネーター 吉田 昭三（産婦人科学教室 講師）
 - ・奈良県立医科大学 女性研究者支援センター コーディネーター 岡本 希（地域健康医学講座 講師）

全体統括

- ・奈良県立医科大学 女性研究者支援センター マネージャー 須崎 康恵

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:10 | 開会
司会：須崎（女性研究者支援センター マネージャー） |
| 13:10～13:20 | 内容説明 |
| 13:20～13:50 | 第1部 講演『君はどんな医者になりたい？』
奈良県立医科大学 病理診断学講座 教授 大林千穂 |
| 13:50～ | 第2部 ワークショップ前半（グループワーク 35分，発表 25分）
司会：水野（女性研究者支援センター コーディネーター） <ul style="list-style-type: none">・理想とする医師像・理想を実現するために今取り組んでいること・理想の実現にあたっての心配事や悩み |
| 14:50～15:00 | 休憩 |
| 15:00～ | ワークショップ後半（グループワーク 20分，発表 40分） <ul style="list-style-type: none">・理想の医師に近づくために、ある一定期間研究に従事することは重要だと思うか |
| 16:00～16:30 | 講評・レポートの配布 |
| 16:30 | 閉会 |

第1部 病理診断学講座 教授 大林千穂先生の講演

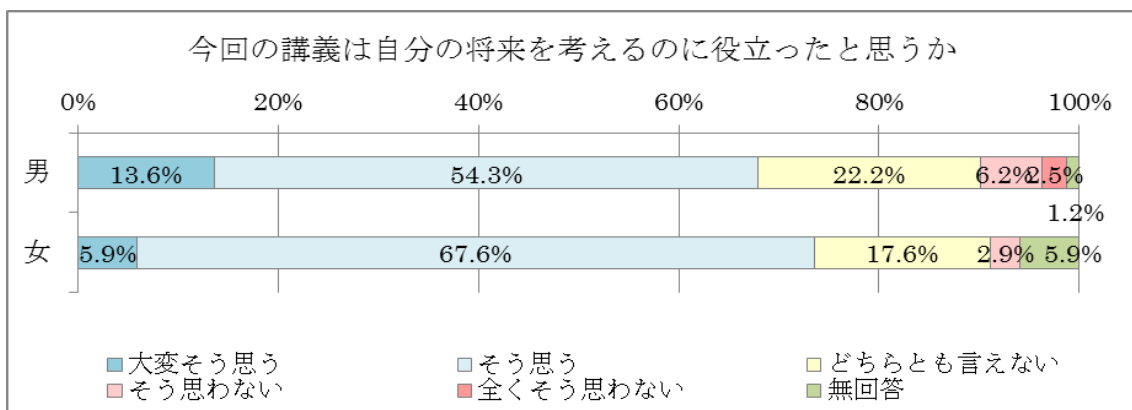
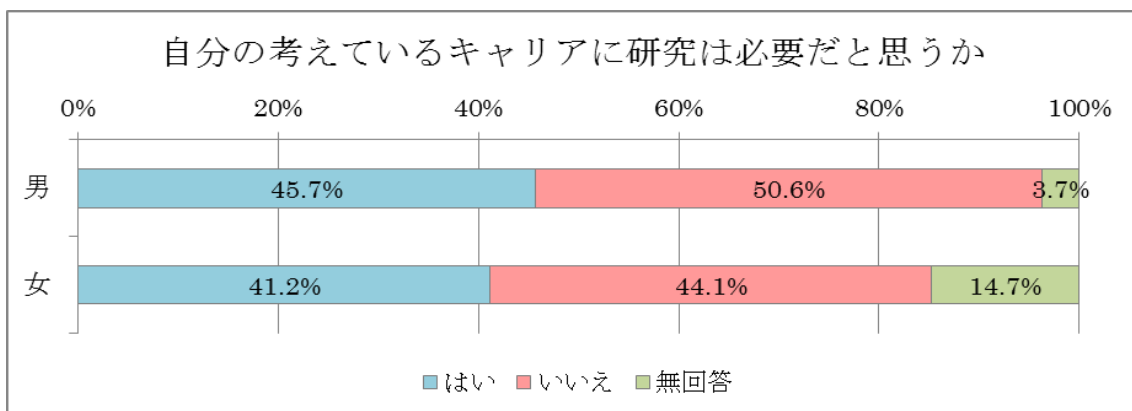
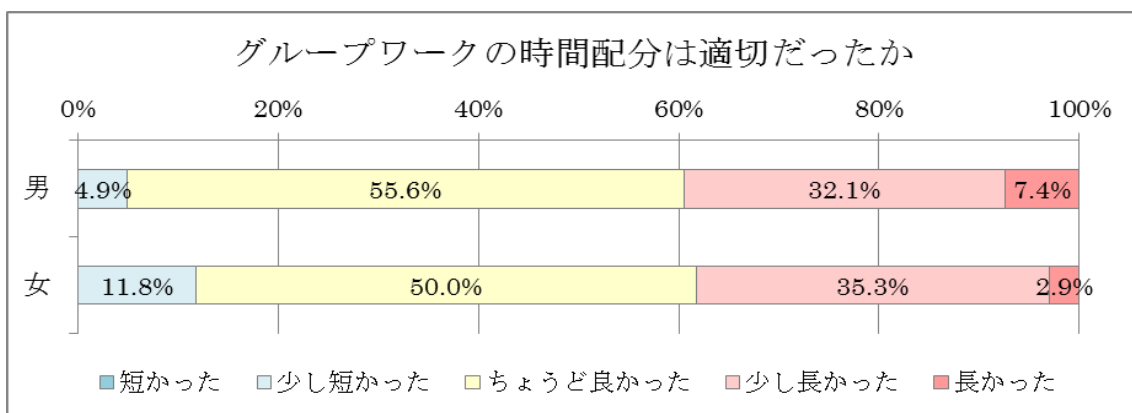
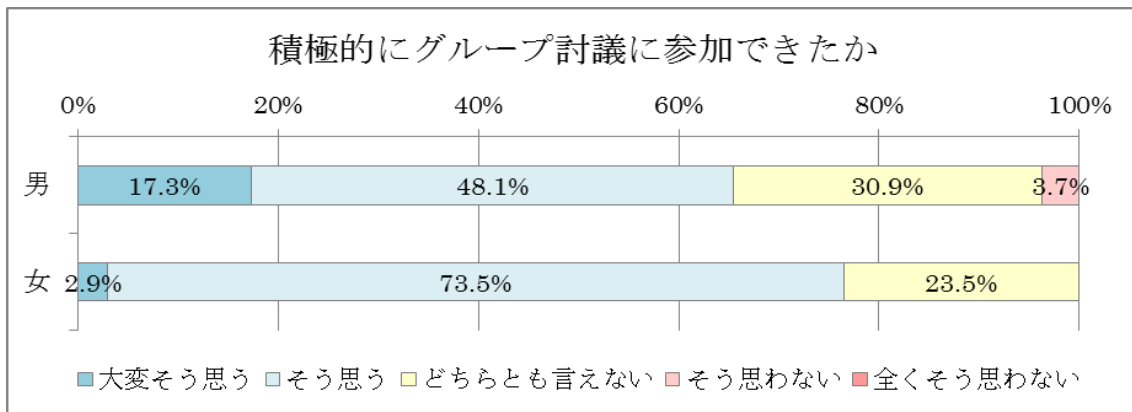
厚生労働省、総務省、内閣府や OECD 等から公表されているデータをもとに、日本の医師数や医療体制および女性研究者数の国際比較を示し、国内の都道府県別および診療科別の必要求人医師数や女性医師の推移等が呈示された。その後、ご自身のキャリア形成や病理医の現状について御講演され、学生は日本の医師の置かれた現状や女性医師・研究者の割合等を学び、臨床現場での研究の重要性についても知る機会を得た。授業終了後に回収した学生のレポートでは、大多数の学生が本講演を有意義であると回答し、キャリア形成についても男女を問わず、多くの学生が参考になったと回答した。とりわけ、大林教授ご自身の仕事に対する考え方や人生の捉え方についての御講演が、学生に感銘を与えた。

第2部 学生による理想の医師像を考えるワークショップ

男女とも学生の大部分がグループ討議や発表、質疑応答に積極的に取り組んだ。大多数の学生が、患者さんと良好な人間関係を築く臨床医を理想とし、授業後の個人レポートでも自身の将来像として臨床医を挙げた。後半に、自身の理想とする医師になるために一定期間研究に従事することが重要かどうかというテーマを議論した。我々教員は、質の高い臨床医育成のためにも大学院進学等で一定期間研究に従事することが重要と考え、その趣旨を pros/cons 形式で学生に呈示した。しかし、過半数の学生は、研究に従事することを身近なこととは考えず、男女ともに自身の思い描くキャリアに研究が必要とは答えなかった。今後は、臨床医をめざす多くの学生に対して、研究の重要性を伝える授業が必要と考える。また、将来に対する心配事として、女子学生の 50% (34 名中 17 名) がワーク・ライフ・バランスを挙げており、男子学生の 5% (81 名中 4 名) と比較して明らかな差を認めた。女子学生に対しては、今後も引き続き多様なロールモデルと接する機会を提供することが必要と考える。

女性研究者支援センター マネージャー
須崎 康恵

個人レポート集計結果



※学生数は男子 81 名、女子 34 名（当日欠席男子 2 名、女子 1 名）である

将来に対する心配事や悩み（抜粋）

- ・一番の悩みは結婚・出産のタイミング。また、家庭に割く時間がちゃんと確保できるか心配。(女子)
- ・患者さんとしっかりコミュニケーションをとり、周りから信頼されることができかどうか。(男子)
- ・地元に戻るのか否か。(男子)
- ・結婚や出産のタイミングや仕事との配分が分からない。でも絶対できる！！と断言して下さって嬉しかったです。いつもマイナスな意見しか出ないので。(女子)
- ・研修医の時にしっかり学びたいことを学べるかどうか不安である。その後はゆっくり勉強できる時間があると思うが、大切な2年間を充実したものにしたい。(男子)
- ・体力が持つか、職場環境がどのような感じなのか。(女子)
- ・やはり結婚、出産・子育てが不安です。家族や職場の人々の理解と協力が得られなければきちんと自分が望むキャリアを築いていくのは難しいです。またそれらを両立できるだけの体力があるかも心配です。(女子)
- ・仕事に追われて家族や自分の QOL をないがしろにしてしまうのではないかと心配している。(男子)
- ・海外で研修したければどのタイミングですればいいのかわからない。(女子)
- ・能力的な不安、また人付き合いが苦手。(男子)
- ・研究・家の事をうまく両立できるのか不安になることもあります。(女子)

当日の様子

